

別記様式第七

遺族補償請求書

遺族補償請求書					
殿					
河川法第 条の規定に基づき、下記のと					
おり遺族補償を請求します。				請求年月日	年 月 日
請求者	住所		生年月日	年 月 日	男・女
	ふりがな氏名	㊟	職業	従事者との続柄	
従事者	生前の住所		生年月日	年 月 日	
	ふりがな氏名		死亡年月日	年 月 日	
			生前の職業		
事故	(事故発生の場所)		(事故発生の日時)		
			年 月 日 前 時 分 後		
補償額	補償基礎額		扶養親族	氏名	生年月日
	基礎額	円			
	扶養親族	{ 20円 × 人 = 円 13円 × 人 = 円			
遺族補償請求金額の計	支給を受けるべき者が1人の場合		(補償基礎額) 円 × 1,000 = 円		
	支給を受けるべき者が2人以上ある場合		(補償基礎額) (この請求書により請求する同順位者の数) 円 × 1,000 × _____ = 円 (同順位者の数)		
	同順位者の氏名	生年月日			
遺族補償請求金額		円	(<input type="checkbox"/> 一時払希望 <input type="checkbox"/> 分割払希望)		
葬祭補償請求金額		円	(補償基礎額 円 × 60)		
遺族補償請求金額と葬祭補償請求金額との合計額					円

備考

- 1 氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
- 2 用紙は、日本工業規格A4の寸法のものとする。
- 3 請求者は、※印の欄は記載しないこと。該当する□に✓印を付け、「男・女」及び「前後」については、該当するものを○で囲むこと。「遺族葬祭」については、必要に応じて○で囲むこと。
- 4 「第 条」の箇所には、根拠条文を記載すること。
- 5 遺族補償の請求者と葬祭補償の請求者とが異なる場合には、各別に請求書を作成すること。